



ひとまち 自然がきらめく 共生の郷 佐用



9 2008 月号

編集・発行 / 佐用町広報委員会
電話：82-2521

No. 36



●主な内容

成長する子どもたち

笑顔キラリ..... 2~5

シリーズ共生の郷づくり..... 6

プラスフェスティバル開催..... 8

敬老会のご案内..... 9

FLASH NEWS (まちの話題) 18~19

体験と学び、そして成長

8月1日~3日にみうち若杉館で行われた『サバイバルキャンプ』の食器づくりのようす。子どもたちはキャンプならではの経験のなかで、さらに成長しました。

7月26日・27日
親子ふれあいキャンプ/ふれあい長谷
【長谷地域づくり協議会】

さんさんとふりそそぐ太陽、せみの鳴き声。さよふの夏の風景には、子どもたちの笑顔がよく似合います。夏休みのさまざまな催しのなかで、子どもたちは自然と地域の人々にかこまれ、さらに成長しました。今月号広報では、そんな子どもたちのようすを、カメラ・ルポでお伝えします。



さよふの自然は、子どもたちにとって遊園地。夏は川が最高の遊び場。辺りに子どもたちの歓声が響きます



竹を使って食器づくり。表情も真剣そのもの。子どもの



夕食は、さよふの大自然や、仲間との会話が調味料となって、さらにおいしくなります



夕食づくりのようす。米のとぎかた、ご飯を炊くときの水加減などを学ぶことも、子どもたちにとっては貴重な体験。「ちょっと水が多いよ」「うん、わかった」



子どもたちを取り巻く環境が、日々悪化しているように感じます。それは、親子のきずな、地域と子どもたちのきずな、そして、子ども同士のきずなが希薄になっているからだと思えます。

昨年から実施している私たちのキャンプの目的は、参加者みんなが、そんな「きずな」を実感してもらうこと、そして強めることです。

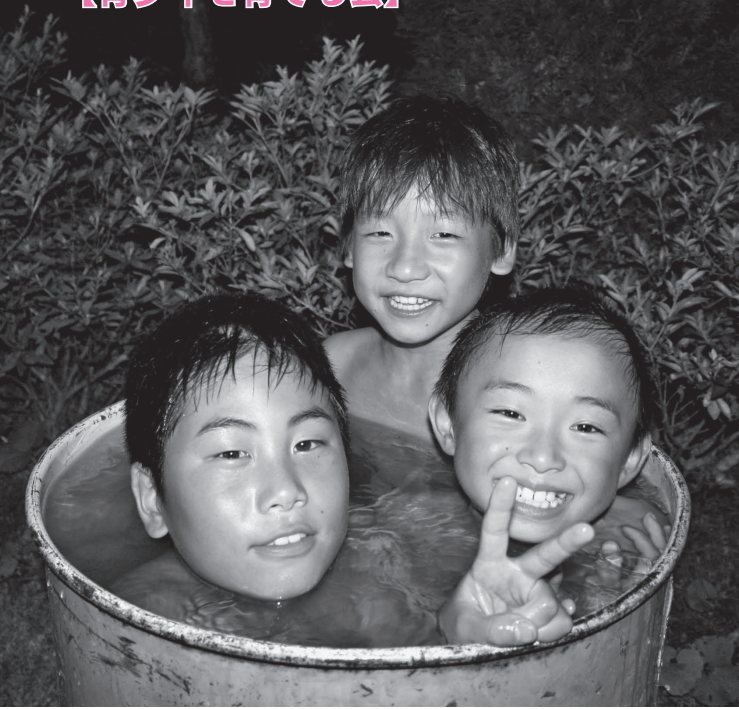
大きな子どもたちがリーダーシップを発揮して、小さな子どもたちの面倒をみたり、大人は、それを手助けしたりしながら、お互いに助け合っ、子どもを育成できる地域をめざしています。



右から長谷地域づくり協議会会長の小林捷二郎さん（横坂）、センター長の尾崎恒生さん（奥金近）、木村光昭さん（宗行）

親子、地域と子、子ども同士の「きずな」を感じてほしい

● 8月1日~3日
サバイバルキャンプ/みうち若杉館
【青少年を育てる会】



サバイバルキャンプ恒例のドラム缶風呂。裸のつきあいで、仲間とのきずながさらに深まります

成長する子どもたち 笑顔キラ



まずは班ごとにテント設営。チームワークの見せどころ



近くの内海薬師堂の見学(写真上)にも挑戦。地域の人もふれあいました



「協力してそうじせんと、食事の時間は無いぞ!」。子どもたちにけきを飛ばすのは、青少年を育てる会副会長の山川隆さん(上町)。きびしさやさしさを使い分ける良き指導者です



サバイバルとは生き残るという意味。これまで人間は、さまざまな道具や火、そして言葉を使って、たくましく生きてきました。このキャンプでは、自分たちの力を発揮して、たくましく生きることを学んでほしいと思っています。またこのキャンプの参加者は、普段仲良く遊んでいる友達ばかりではありません。そんな環境のなかで、今年のキャンプのテーマは「協力」と設定しました。

知らない子たちといっしょに、相手をいたわり、尊重し、力を合わせることで、さまざまな困難に立ち向うこと。そんな体験のなかで、子どもたちがさらに成長することを願っています。



青少年を育てる会
 会長 岡本 平さん (中ノ原)

キャンプのテーマは「協力」
 その大切さを教えたい

● 7月26日 高瀬舟まつり／久崎金比羅神社周辺
【千種川ネットワーク】



小さな子どもたちもたくさん集まり、川で涼をとりました。「つめたくって、きもちいいね」



釣果上位3人。右から優勝の服部美耶ちゃん（久崎）、準優勝の大山拓真くん（下秋里）、第3位の高見周平くん（久崎）



高瀬舟の体験乗船では、子どもたちは大喜び。「クルージング、行ってきま〜す」



会場前の千種川で行われたチチコ釣りは、大人も夢中に。「ねえ、そろそろほくと交代してよ」



「昔、久崎から高瀬舟を使って赤穂まで米を運んでいました。それでは赤穂からは何を運んで来てたでしょうか？」「え〜っと。塩？」「正解！」。船上では、舟にまつわるクイズで、交流が行われていました。地域に根ざした学習も、子どもたちを育む大切な要素です



私たちの思いはひとつ。子どもたちの笑顔をたくさん作り、地域を子どもたちの笑顔でいっぱいにする事です。そんな思いで開催している高瀬舟まつりは、私たちの毎年恒例の行事。チチコ釣りや高瀬舟の体験乗船などが、地域の歴史を知るきっかけになり、大きくなったときの良い思い出となれば、これ以上の喜びはありません。

久崎地域は、その昔船着場として栄えました。その歴史と川を生かした地域づくりをめざすため、12年前に本組織を作りました。設立当初は数人だったメンバーも、今では20人。4年前にシンボルの高瀬舟も復元し、活動も活発になっていきます。



千種川ネットワーク
会長 山西 薫さん（久崎）

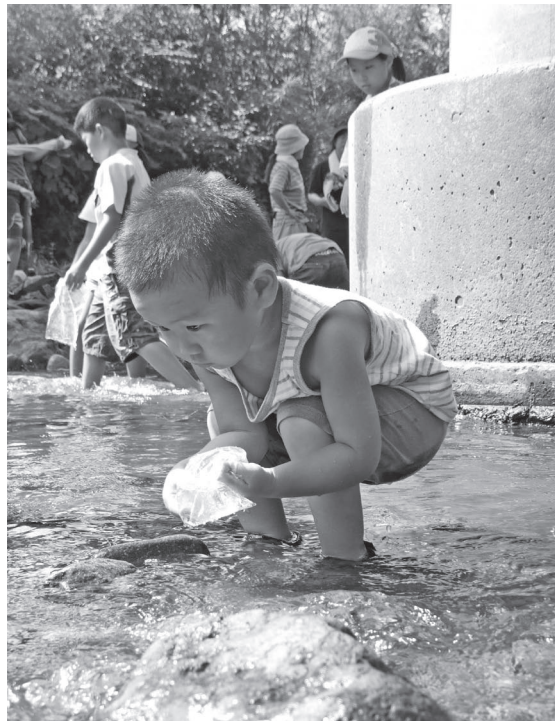
地域を子どもたちの笑顔で
いっぱいになりたい

※チチコ：カワヨシノボリのこと。町内ではほかに「トチンコ」「カチンコ」と呼ばれています。

●8月10日 水生生物調査/三河地域づくりセンター周辺
【三河地域づくり協議会】



「何かいっぱい動いとるで」。けなげに生きる多くの命に出会いました



じつと水中の魚を見つめる小さな目。自然とのふれあいは、子どもたちの好奇心をかきたて、五感を磨きます



「これ何ていう虫？」子どもたちにとって、地域の大人はみんなが先生

川で採取した水生生物は持ち帰り、水質との関係を学習。講師は元昆虫館館長の内海功一さん（船越）。「川って、みんなで大切にしないとイケないやね」



最後はみんなで交流会。あまごのつかみどりや、うめん流しを楽しみました



名水百選にも選ばれている千種川は、今も昔も私たちの生活に潤いを与えてくれます。私たち三河地域に住む者にとって、この清流は宝物。そんな宝物をいつまでも美しく後世に伝えることは、今を生きる者の責務です。

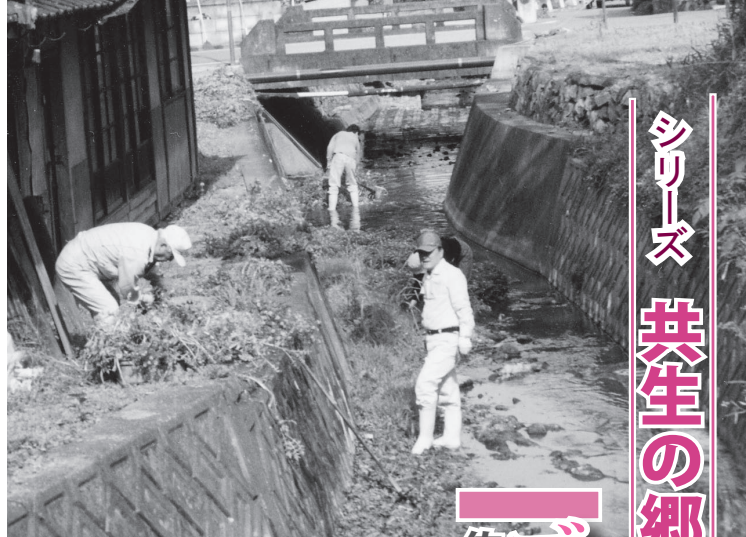
私たちは年に3回、地域をあげて千種川の美化活動に取り組んでいます。今回のイベントはその一環です。

このイベントを通じて、子どもたちが清流千種川の環境に関心を持ち、将来力を合わせて、千種川や三河地域を盛り上げ、守ってくれることをめざしています。



左から三河地域づくり協議会会長 嶋本昭彦さん（下三河）、センター長の松井勝俊さん（漆野）

地域の子どもの力で
千種川を守ってほしい



河川清掃のようす

ゼロ ゴミの地域をめざして

佐用地域づくり協議会

8月3日、佐用地域づくり協議会主催で、地域内の一斉美化活動が行われました。これは、同協議会の環境整備部会が企画したもので、今年で2年目。地域の子どもから高齢者までが参加し、美化活動に汗を流しました。「環境美化について、地域で少しでも意識が高まれば」と話すのは同部会長の古市隆

行さん（栄町）。「ゴミのない美しい地域を、地域一丸となつてつくりたい」と力強く話していました。なお、集められたゴミは、いったん町民グラウンドに集積され、その量は軽トラックで20台分にもなりました。その後、佐用クリーンセンターに持ち込まれ、処分されました。



消火訓練を行う女性のみなさん

女性を中心に 消火訓練を実施

三日月地域づくり協議会

8月3日、三日月地域づくり協議会の西部地区参画の元気部会が、消火訓練を久保大橋下の川原で実施しました。この取り組みは、地域の防災意識を高めることを目的に、昼間在宅の高齢者や女性の消火訓練を行うとともに、各家庭の消火器点検を促すために実施されました。今回は、主に末広地域を対象に、子どもから高齢者まで

約70人が参加。消防署員の指導のもと、全員が消火器による消火活動を体験しました。訓練実施後、部会長の梅本浩司さん（島脇）は「今後は、より地域住民の防災意識を高めるような『しかけづくり』を検討し、実施していきたい」と話していました。なおこの訓練は、今後も三日月地域西部地区で、順次実施されます。

オオサンショウウオ観察会

地域環境の大切さを学ぶ

石井地域づくり協議会

8月2日、石井地域づくり協議会主催のオオサンショウウオの観察会が行われ、120人が参加しました。

オオサンショウウオは特別天然記念物。きれいな川にしか生息できない生物で、約3、000万年前とほぼ同じ姿であるため生きた化石と呼ばれています。この催しは、日ごろからオオサンショウウオと環境を守る活動をしている『佐用川のオオサンショウウオを守る会』の協力を得て、オオサンショウウオの生態から、環境保全への意識を高めるために行われました。

参加者のみなさんは、まず



石井体育館で、『佐用川のオオサンショウウオを守る会』の野村智範さん（櫛田）から、オオサンショウウオの生態をくわしく学習した後、付近の川でオオサンショウウオの観察を行いました。

『佐用川のオオサンショウウオを守る会』代表の山川修さん（円応寺）は「この環境は貴重な財産。多くの人にこの環境のすばらしさを知ってもらいたい」と、また地域づくり協議会会長の岡本平さん（中ノ原）は「この環境を守ることが、私たちの大きな役割。がんばりたい」と話していました。

祝100歳 おめでとうございます
いつまでも お元気で

山本タマさん（船越）が7月で百歳を迎えられました。明治41年生まれの山本さんは大変お元気で、お祝いにつけられた訪問者や家族から温かい祝福を受けていました。町からは長寿祝金と記念品、花束が贈呈されました。



たくさんの人たちに囲まれて、うれしそうな山本さん



感謝状贈呈のようす。写真左が黒川さん、中央が井上さん

**人権擁護
委員**

**黒川恵準さんが退任
新たに井上眞生さんが就任**

町の人権擁護委員として長年活躍された黒川恵準さん（平福中町）が、6月30日をもって退任されました。在任中の功績に対し、法務大臣から感謝状が贈呈されました。

また、井上眞生さん（平福上町）が7月1日付けで新たに法務大臣から委嘱を受けました。

**青少年を
育てる会** ありがとうございます
清水樹さんに感謝状

このほど、青少年を育てる会の会長として活躍された清水樹さん（中町）に、町長から感謝状が贈呈されました。清水さんは会長として平成12年4月1日から4期8年にわたり、本町の青少年の健全育成に尽力されました。清水さんは「今後も、青少年の育成を支援していきたい」と受賞の喜びを話していました。



サイバールキャンプの最終日（8月3日）、子どもたちの前でされた贈呈式のようす

**ありませんか？
高齢者への偏見・差別**
高齢者に対するマイナスイメージは、働くことが困難になる、介護や世話を必

要とする人々や寝たきりの人、認知症の人などに対して、ネガティブ（否定的）なイメージを持つてはいないでしょうか。
しかし、実際にはすべての高齢者に同じような現象が生じるわけではなく、その状態はもちろん、考えかた、生きかたも人によって様々なのです。

■お問い合わせ
生涯学習課
82・3336

要とするなどの固定観念から生まれてきているのではないのでしょうか。このことが、高齢者をさげすんだり、排除したりする意識につながってはいないのでしょうか。すべての人にとって、誕生から死に至るまでのライフ・ステージのなかで、どの時期が価値があり、どの時期が価値がないなどといえるのでしょうか。高齢期もほかの時期と同じように大切であり、その人の姿、形がどうあるとも、存在そのものが重くて尊いのです。こうした人としての価値や尊厳を抜きにして高齢者について語られるとき、様々な人権問題が生じてきます。たまたま高齢期に生きているというだけで、不当に人権を侵害されることはゆるされません。

雇用時人権標語
ありがとう たった5文字で みな笑顔



**高齢者の
人権を考える**

高齢者をどう見えていますか？

どの人も加齢とともに、心身に様々な変化が生じてきます。耳が聞こえなくなったり、目がかすんだり、歩行が困難になったりといった身体の衰えや、同じことを何度も話したり頑固になったり、認知の衰えなどがあらわれてくる場合もあります。そこで私たちは、高齢者のイメージを画的・固定的にとらえがちです。なかでも、介護を必要とする人や寝たきりの人、認知症の人などに対して、

ネガティブ（否定的）なイメージを持つてはいないでしょうか。



第2回さようマラソン&ウォーク ボランティアスタッフ募集

「さようマラソン&ウォーク」は町の一大スポーツイベント。町内外から多くのかたが参加します。この大会を盛り上げていくため、ボランティアスタッフとしてお手伝いいただけるかたを次のとおり募集します。みなさんのご応募をお待ちしています。

- 開催日 12月14日(日) 雨天決行
- 場所 三日月中学校グラウンドほか
- 内容 駐車場係、受付係、給水所係、交通整理係、放送係、その他
- 応募資格 佐用町、近隣市町在住・在職、在学の中学生以上でおおむね65歳以下のかたで、スタッフ説明会に参加できるかた。(町体育指導委員会、体育協会など関係団体からスタッフとして従事いただくかたの重複はできません)
- 申込方法 所定の申込書で申し込みください。申込書は本庁、支所、出張所にあります。
- 応募締切 10月17日(金)まで

★くわしくは、広報9月号同時配布のチラシをご覧ください。

■申し込み・お問い合わせ 生涯学習課(上月体育館)
☎86-0441 FAX 86-0442

ふれあいの祭典

ブラスフェスティバル開催

県民文化普及事業「ふれあいの祭典 第20回ひょうごブラスフェスティバル」をおりひめ文化ホールで開催します。佐用中学校、佐用高等学校の吹奏楽部をはじめ、西播磨地域ならびに県下の吹奏楽団などが出演します。

また、南光子ども歌舞伎クラブも参加します。ぜひお越しください。

- 開催日時 10月4日(土) 午後1時 開演
- 場所 おりひめ文化ホール(さよう文化情報センター)
- 入場料 無料
- 出演団体 南光子ども歌舞伎クラブ、赤穂市立塩屋小学校、姫路市立高浜小学校、押部谷カントリークラリネットアンサンブル、三田市立富士中学校、加古川市立平岡中学校、佐用町立佐用中学校・上郡町立上郡中学校合同、県立佐用高等学校、姫路市立琴丘高等学校、吹奏楽団ブラスポルテニョ(出演順)
- 主催団体 ひょうごブラスフェスティバル佐用町実行委員会、兵庫県、(財)兵庫県芸術文化協会、佐用町、佐用町教育委員会、兵庫県吹奏楽連盟、西播吹奏楽連盟

■お問い合わせ

ひょうごブラスフェスティバル佐用町実行委員会事務局
(生涯学習課内) ☎82-3336

【小学生の部】

- 開催日 7月5日(土)
- 場所 三日月中学校体育館
- 第1回佐用町綱引き大会
- 第3位 SC 21さようD
- 準優勝 青木B
- 優勝 長谷B

【ふれあいのリーグ】

- 第3位 平福イーグルス
- 準優勝 SC 21さようB
- 優勝 長谷C

【上位リーグ】

- 開催日 6月28日(土)
- 場所 利神小学校グラウンド
- 優勝 たまりや

【佐用ベタング大会】

- 開催日 6月28日(土)
- 優勝 ほんえみこづき2

【Fブロック】

- 優勝 上秋里A
- 準優勝 大酒A

【Dブロック】

- 優勝 オアシス
- 準優勝 小赤松A

【Bブロック】

- 優勝 小赤松A
- 準優勝 大酒A

【Aブロック】

- 開催日 6月24日(火)
- 場所 上月グラウンド
- 優勝 佐用双葉会
- 準優勝 徳久レッドファイターズ
- 第3位 ヤングジャガーズ
- 復活賞 ヤングジャガーズ

【南光グラウンドゴルフ大会】

- 開催日 7月7日(月)
- 場所 南光スポーツ公園
- 優勝 阿曾伊和男・平田弘美・平田ツヤ子・畑中八重子・谷邑寛律・舟引砂和子
- 準優勝 山下澄子・紙上美枝子・衣笠章・堂本悦住・山内あつ子・真島美雄
- 第3位 高畑秀子・竹内一喜・白矢正光・嘉地俊一・長尾愛子・飛岡計司

●がんばった人たちに
にじゅうまる

みんなのスポーツ (敬称略)

【個人の部】

- 優勝 平田弘美
- 準優勝 紙上美枝子
- 第3位 衣笠章

【上野FC主催 サッカー交流大会】

- 開催日 8月3日(日)
- 場所 上月グラウンド
- 6年生以下の部(関係分のみ) 星都サッカークラブ
- 4年生以下の部(関係分のみ) 星都サッカークラブ
- 第3位 星都サッカークラブ

一部変わります



長寿祝金制度

長寿祝金制度は、県と町の事業があり、今年から次のとおりとなります。

■県事業分は廃止されます

兵庫県が実施していた88歳と100歳のかたへの長寿祝金制度は、今年度から廃止されます。

ただし、年度内に100歳を迎えるかたは、知事の祝状と記念品が贈呈されます。

■町事業分はこれまでどおり

町独自の長寿祝金制度は、これまでと変更なく、下記のとおりです。

【敬老月間分】

満80歳～87歳のかた 3,000円

満88歳以上のかた 5,000円

【100歳祝い分】

100歳になられたかた 30,000円

敬老会を開催します

佐用町では高齢者のみなさんに、敬意と感謝の気持ちを込めて、佐用町敬老会を次の日程で開催します。

くわしくは自治会長を通じ、対象のみなさんにお知らせします。ぜひご参加ください。

■日程

開催日(9月)	午前の部	午後の部
13日(土)	南光地域	上月地域
14日(日)	佐用・長谷地域	平福・石井・江川地域
15日(祝)	三日月地域	

【午前の部】 午前 9時40分 ～ 式典・お楽しみ演芸会
午後 12時30分 ～ 昼食

【午後の部】 午前 11時20分 ～ 昼食
午後 12時40分 ～ 式典・お楽しみ演芸会

来場には、送迎バスも準備しています。

■会場 式典：さよう文化情報センター ホール
昼食：佐用勤労者体育センター

■対象者 昭和9年4月1日以前に生まれたかた(75歳以上)

■内容 式典と演芸(大衆演芸と舞踏歌謡ショー)

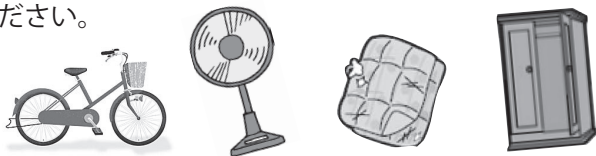
■お問い合わせ 福祉課 ☎82-0661

■お問い合わせ 福祉課 ☎82-0661

可燃・不燃ともに収集します

粗大ごみ

今回から不燃粗大ごみに加えて、可燃粗大ごみも回収します。そのため、粗大ゴミ集積場が新たに設定されていますので、お間違えのないようご注意ください。



地域別収集開始日

三日月地域：9月22日(月)～

南光地域：10月6日(月)～

上月地域：10月21日(火)～

佐用地域：11月11日(火)～

●収集品目や日程は、別途配布のチラシをご覧ください。

9月の祝日

15日・23日は通常業務です

月～金曜の祝祭日は年末年始を除き、直接搬入の「もえるごみ」「もえないごみ」とともに、午前9時から午後4時30分まで、通常どおりの受付を行っていますのでご利用ください。

なお、収集も通常どおり行います。20日の第3土曜日は、「もえないごみ」のみ受付を行います。

もえるごみ袋に金属類を入れないで

空き缶や金属類は少量でも、必ずもえないごみとして出してください。焼却炉や灰処理設備の故障の原因となりますので、ご協力をお願いします。また「もえるごみ」は町指定の赤字の「もえるごみ袋」(通常サイズ・少量用)を必ず使用してください。

■お問い合わせ 佐用クリーンセンター ☎82-0293



夜空にも美しい大輪の花が咲きました（8月3日）



ひまわりのじゅうたんのなかで、写真撮影



「何を買おうかな」（物産コーナー）



おもしろ自転車も大人気（8月2日～3日）



平日も多くの観光客でにぎわいました



大人から子どもまでが楽しんだひまわり迷路



たくさんのお客でにぎわいました 南光ひまわり祭り

7月19日から8月3日までの間、南光ひまわり祭りが開催され、町内外から多くの観光客が訪れました。8月3日には花火大会も行われ、ファイナーレを飾りました。

防ごう！

高齢者と女性の農作業事故

女性や高齢者の農作業事故が年々増加しています。日ごろから次のことに注意しましょう。

■ 休憩時間の確保

2時間に1回は休憩をとるようにしましょう。疲労がたまると、集中力や判断能力がにぶり、重大事故につながりやすくなります。

■ 自身の身体状態の把握

高齢化とともに身体能力は低下します。自分を過信し無理な作業は行わないようにしましょう。少しでも体調不良がある場合は作業を控えましょう。

■ 正しい技術の習得

農業機械の基本操作を理解しておきましょう。正しい技術を習得していなければ、正しい対処ができず、事故につながる可能性があります。

■ お問い合わせ 兵庫県農業機械化協会
☎ (0790) 47-1536
農林振興課 ☎ 82-0667

予約制

社会保険事務所

出張年金相談会

■ 日時 10月9日（木）
午前10時30分～午後3時30分

■ 場所 さよう文化情報センター

■ 定員 先着40人

■ 予約受付期間

9月9日（火）～10月2日（木）まで

※土日祝祭日を除く午前8時30分～午後5時30分まで

■ 当日の持参物

被保険者のかたは年金手帳、年金受給者のかたは年金証書、印かん

■ ご注意 本人以外の代理者が来られる場合、書式は問いませんが、ご本人からの委任状と、委任されたかたの本人確認の出来るもの（運転免許証など）が必要となります。

■ 予約・お問い合わせ

住民課 ☎ 82-0660





ゆかたパーティーでそうめん流しを楽しむ参加者のみなさん



ウェルカムパーティーでご対面。かたい握手を交わし「よろしくお願いします」とあいさつ

国際交流ホームステイ

いなかのえんげ

8月7日から10日まで、第11回国際交流ホームステイ『いなかのえんげ』が行われ、大阪大学の9人が、町内の家庭でいなか生活を楽しみました。



皿回しを楽しむホアン・ハイン・ティさん（ベトナム）

★参加者の声

★ホストファミリー

■外国の若い人に日本の原風景を見てもらい、生活を体験するということは、外国人の日本人理解を深め、将来、よき日本の理解者になってくれると感じました。（谷口勝昭さん・才金）

■留学生の日本に対する考えかたや文化の違いで、あらためて今の生活、そして佐用町を見つめ直すことができました

た。そして家族のきずなも一層深まりました。（碧木栄基さん・駅前）

■日本語がほとんどできないため、会話ができませんでしたが、特に不便さを感じませんでした。ウェルカムパーティーから最後まで、とても時間が短く感じました。（祐保俊彦さん・判官）

■たった4日間にもかかわらず、私とホストファミリーには堅いきずなができました。日本でこんな強いきずなを体験するのは初めてです。（ウエンディ・ヤンさん・カナダ）

■みなさんと生活したことは忘れられない思い出です。日本の新しい知識も得ることができました。また、佐用町は、住みたいくらいきれいだと思いました。（ブルジュバエワ・チヨルボンさん・キルギス）



● 該当のかたには 事前に連絡します

家屋評価にご協力を

平成20年中に新・増築された家屋を対象に、来年度からの固定資産税課税のため家屋評価を行います。

■**評価方法** 税務課職員が建物各部の使用材料などを確認します。非木造家屋は、県税事務所が評価します。

■**実施期間** 9月から12月ごろまで

■**評価にかかる時間** 1時間程度

■**準備いただくもの** 印かん・建築図面・仕様書など

■**お願い**

家屋の課税について現況把握に努めていますが、未登記家屋の新・増築や取り壊し、所有権移転をされた場合、それを把握することは困難です。課税漏れや誤って課税する恐れがありますので、この場合は税務課まで連絡をお願いします。なお、すでに登記が完了されたかた、または建築確認申請を提出されたかたは、税務課へ連絡の必要はありません。

■お問い合わせ 税務課 ☎82-0662

Windows Vista 入門・初級コース 受講生募集

受講希望のかたは、Windows Vista 搭載のパソコンをご持参ください。

【入門コース：電源の入れかた、マウス操作など】

■開催日

10月8日（水）、10日（金）、15日（水）

■申込期限

9月26日（金）

【初級コース：簡単な文書作成、保存など】

■開催日

10月17日（金）、22日（水）、24日（金）

■申込期限

10月7日（火）

★コース共通

■開催時間

午後7時30分から2時間

■開催場所

上月文化会館

■受講料

1,500円

■募集人数

各20人



■申し込み・お問い合わせ

上月支所地域振興課

☎86-1210 FAX 86-0793



一滴から 大きな流れを 町地球温暖化防止活動推進員 古本 幸さん (力万)

今ではすっかり耳慣れた言葉になった地球温暖化。こうしている間にも温暖化は確実に進み、その影響は様々なところに現れています。

この夏の猛暑、集中豪雨などの異常気象もそのひとつでしょう。その原因をつくっているのは、私たち一人ひとりの生活です。

こんな物語があります。

「ハチドリのひとしずく」アンデス地方民話 辻信一 監修
森が燃えていました。

ハチドリはくちばしで水を一滴ずつ運んでは火の上
に落としています。

「そんなことやって何になるの？」

「私は、私にできることをしているだけ。」

この物語で燃えている森は、地球のことと考えることが
できます。

ハチドリのひとしずくのように、熱くなっている地球を冷やすための行為は、無駄なものだと思われるかもしれませんが、どんなに小さなことであっても、たくさん集まると大きな流れになります。私たちの小さな努力が大きな流れとなり、地球を冷やすことができるのではないのでしょうか。日々の生活のなかでも私たちにできることがたくさんあります。

地球にやさしい生活へとほんの少し変えて、私たちの小さなしずくを地球に落としていきましょう。

10月から

障がいがあるかたの NHK受信料免除基準が 変わります

■全額免除

・身体、知的、精神障がい者が世帯構成員で、世帯全員が町民税非課税の場合、全額免除になります。

※従来の「身体障がい者」「重度の知的障がい者」から、対象が拡充されます。生活状態の条件が「町民税非課税」になります。

■半額免除

・視覚、聴覚障がい者が世帯主の場合に、半額免除となります。

・重度の障がい者（身体障害者手帳1・2級、療育手帳A判定、精神障害者手帳1級）が世帯主の場合に、半額免除となります。

※従来の「重度のし体不自由者」から対象が拡充されます。

免除の申請は、福祉課・支所・出張所で手続きをお願いします。印かんと障害者手帳（身体・療育・精神）をご持参ください。くわしくは、下記までお問い合わせください

■お問い合わせ 福祉課 ☎82-0661

台風シーズンを控え

防災無線の再点検を

防災無線は、災害時などの重要な情報連絡手段です。今一度、乾電池や受信状況を確認しましょう。また、受信機の電源スイッチは、常にONの状態で使用し、コンセントの接続状況も確認しましょう。



- 受信しやすいところに設置しましょう
 - 乾電池は、早めに交換しましょう
- 受信機の電源ランプが赤色点滅になり、「ピー、ピー」という音が鳴れば、電池が消耗している合図です。

停電が長時間あった場合も、電池交換をしましょう。

テレビで流れる

土砂災害警戒情報にご注意

この情報は、大雨警報発表中に、2時間後までの予測雨量が土砂災害が発生する基準を超過した市町に対して、テレビで緊急気象情報として流れます。



各家庭に配布済みの

「佐用町防災マップ」に記載されている「土砂災害危険箇所」の近くにお住まいのかたは、この情報に充分注意してください。危険を感じたら安全なところに避難をしてください。

■お問い合わせ 住民課 ☎82-0660



救命士からの ワンポイントアドバイス

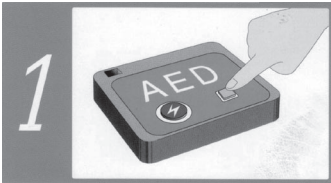
今回は AED（自動体外式除細動器）の使いかた

■お問い合わせ 消防署 ☎82-3872

先月はAEDの働きを紹介しました。いざというときのために、今回はその使いかたを紹介します。

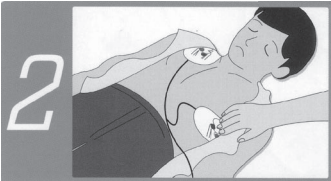
スイッチを入れれば、AEDが音声で指示を出しますので、その通りに操作すれば、だれでも簡単に使うことができます。

電源スイッチを入れる



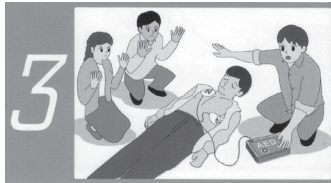
■ AEDを持ってくれば、すぐにケースから取り出し電源スイッチを入れます（ふたを開くと自動的に電源が入る機種もあります）。すぐに、音声による指示が流れてきます。

電極パッドをはる



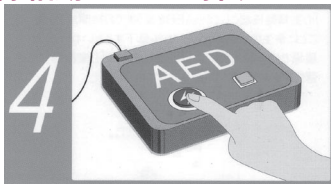
■パッドを袋から出して、シールをはがし、図で示された場所に、肌に密着するように、しっかりとていねいに貼ってください。

患者から離れる



■電気ショックを与える必要があるかどうかAEDが自動的に心電図の解析を始めます。患者から離れるよう指示があります。（ここまで心肺そ生は続けてください）

AEDから指示がでたら 除細動ボタンを押す



■心電図の解析の結果、電気ショックが必要であれば、ショックボタンを押すよう、AEDが音声で指示を出しますので、ショックボタンを押してください。

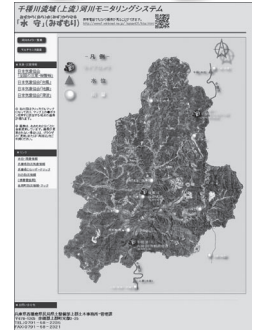
■電気ショックが完了すれば、心肺そ生を再開します。

お気に入りに登録を

● 河川水位情報システム

みずもり 水守

西播磨県民局上郡土木事務所では、9月1日から携帯電話やインターネットで河川情報を提供する「水守」の配信を開始しました。県下で初めての試みで、町内の河川3か所（千種川2か所、佐用川1か所）の河川の状況が24時間確認できます。



■ 接続方法

【パソコン】

<http://www1.winknet.ne.jp/~kasen01/pc.html>

【携帯電話】

<http://www1.winknet.ne.jp/~kasen01/ktai.html>

・佐用町ホームページからリンクできます。

<http://www.town.sayo.lg.jp/bousai/bousaimap.html>

・その他、兵庫県のホームページ、さよう安全安心ネットからも接続できます。

■ 提供内容

- ① 3か所の静止画の提供（更新2分間隔）
（千種川ー1）南光ひまわり館（船越）
（千種川ー2）久崎（旧双観橋付近）（久崎）
（佐用川）佐用大橋（佐用）
- ② 千種川上流域の河川水位・雨量情報の情報提供（リンクにて、インターネットのみ）

■ お問い合わせ

西播磨県民局県土整備部上郡土木事務所

☎（0791）58-2235

● 小中学校に設置され、町内に53か所

AED 設置状況

自動体外式除細動器

教育委員会は、子どもたちが学校で起こりうる万一の事態に備え、小中学校にAED（自動体外式除細動器）を設置しました。

AEDは、きれいで血液を送り出せなくなった状態の心臓に、電気ショックを与え、心臓を元の状態に戻すことを試みる医療機器で、全国的に普及が進んでいます。1～8歳児に対しても使えるよう、小学校には小児用パッドを付属しています（使用時には、併せて心肺そ生が必要です）。

町では、小中学校だけではなく、公共施設をはじめ、医療機関、民間企業とも協力しながらAEDの設置と普及に力を入れています。

8月20日現在、町内に53か所設置されています。

■ お問い合わせ

消防署救急係 ☎82-3872

すべての町民の暮らしを応援します

としょかん



だより

佐用町立図書館

佐用郡佐用町佐用2585 TEL 82-0874 FAX 82-0313

メールアドレス toshokan@town.sayo.lg.jp

ホームページ http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp

います。

また、ホームページから、図書館所蔵の本の予約もできます。

予約にはパスワードが必要です。図書館で、パスワードの登録手続きをお願いいたします。

機能を活用して、豊かな図書館ライフをお過ごしください。

「としょかんボランティアあそびせ隊」のおはなし会

日時 毎週土曜日

午後2時～午後2時30分

場所 図書館おはなしコーナー

対象 幼児・小学生

申し込み 不要

おはなし会

日時 毎週日曜日

午後2時30分～午後3時

場所 図書館おはなしコーナー

9月のおはなし

「ヤギと「オロギ」

「大きい人(小学3年生以上)」

日時 毎週日曜日

午後3時～午後3時30分

場所 図書館おはなしコーナー

9月のおはなし

「どんぐりと山猫」

申し込み 不要

おりがみ教室

日時 9月27日(土)

午後3時～午後3時30分

場所 さよふ文化情報センター

対象 3歳以上の子ども

保護者も参加可

9月のおりがみ

「かき」「やる」

申し込み 不要。おりがみをお持ちください。

上月文化会館 移動図書館 「いなかの本だな」

10月の巡回日は

2日(木)です。

図書館 カレンダー

9月 September 葉月							10月 October 神無月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	5	6	7	8	9	10	11
7	8	9	10	11	12	13	12	13	14	15	16	17	18
14	15	16	17	18	19	20	19	20	21	22	23	24	25
21	22	23	24	25	26	27	26	27	28	29	30	31	
28	29	30											

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

ママプラザ だより



こころに

ゆとりを持ちましょう

暑くて長い夏も終わり、やっとほっとできる季節になりました。

おかあさん、心の夏バテしていませんか。

子どもは、夏の暑さなどおかまいなし。自分のやりたいことをして、親の言うことをちっとも聞かない、その上口ごたえばかりする。

おかあさんにしてみれば、子どもがわざと親をイライラさせるように聞こえることがあるようにさえ思えることがあります。

そんなとき、親としてはがまん限界を超え、ドツカインと爆発してしまいます。

また、毎日、同じことの繰り返しで、怒ったことへの後悔と子どもに対するイライラで、おかあさんの心の疲労度もピークを迎えていることもよくあります。

親と子どもが同じレベルにいると、子どもは必ず反

発してきます。

食事のとき「早く食べなさい」と言ってもダメ。「ご飯おいしいよ」「にんじんさんが〇〇ちゃんのお口の中に入りたいて言ってるよ」こういう言いかたに変えてみると、子どもたちは「食べてみようかな」という気持ちになります。

ちよっと言いかたを工夫したり、親がお手本をみせたりするなどして、子どもをその気にさせるコツをつかめば、おかあさんも少しは楽になるかもしれません。

また、子どもと二人でいる時間が「しんどいな」「疲れたな」と感じたら、早めに子育て仲間と話をしてみよう。そうすることで、苦勞を分かち合ったり、気分転換できたりと、心の疲勞を解消できます。

おかあさんのイライラは、子どもにも影響します。一呼吸おいて、ゆつたりとした子育てを心がけたいものです。

お問い合わせ

キラキラっ子ママプラザ

82・4108

ビスラっ子ママプラザ

86・1153

ひまわりっ子ママプラザ

78・0264

みかづきっ子ママプラザ

79・3788

新着図書案内

2008.7.19 ~ 2008.8.15 受け入れ分の一部



●大人向けの本

- 悩む力 姜 尚中／著 集英社
- 官僚との死闘七〇〇日 長谷川幸洋／著 講談社
- よくわかる監査役になったら事典 会社法完全対応版
浜辺陽一郎／著 中経出版
- 夫婦の格式 橋田寿賀子／著 集英社
- 子どもに伝えたい食育歳時記 一年中行事・記念日から引ける
新藤由喜子／著 ぎょうせい
- 100年の難問はなぜ解けたのか 天才数学者の光と影
春日真人／著 日本放送出版協会
- ステロイド薬がわかる本 一使い方と副作用の正しい知識
宮坂信之／編著 法研
- 50歳からのインターネット入門 一有名サイトを使いこなす
大人のためのネット研究会／著 アルファポリス
- 人気店の最新もつ料理の調理技術
旭屋出版編集部／編 旭屋出版
- 格安航空会社の選びかた
チャーリィ古庄／著 樞出版社
- 北島康介夢、はじまる 折山淑美／著 学研

浅田次郎とめぐる中国の旅

- 『蒼穹の昴』『珍妃の井戸』『中原の虹』の世界
浅田次郎／著 講談社
- ★エイジハラスメント 内館牧子／著 幻冬舎
- ▲波打ち際の蛸 島本理生／著 角川書店
- ★非常識家族 曾野綾子／著 徳間書店
- ★グラニテ 永井すみ／著 集英社
- ▲プラチナタウン 楡 周平／著 祥伝社
- おそろし 一三島屋変調百物語事始
宮部みゆき／著 角川書店

■青春の十字架

- 森村誠一／著 中央公論新社
- 父の戦地 北原亜以子／〔著〕 新潮社
- 人間も偽装が好き 渡辺淳一／著 新潮社
- ハバナ奇譚
ダイナ・チャヴィアノ／著 ランダムハウス講談社

●郷土の本

- 西はりま食の達人による「こだわり農作物」
上郡農業改良普及センター／〔ほか〕編 兵庫県西播磨県民局
- 播美合同句集 No.1 ~ 12
〔播美俳句会〕／〔編著〕 播美俳句会

●子ども向けの本

- 宇宙においでよ！ 野口聡一／著 講談社
- 親子で楽しむしぜんあそび図鑑
山本克彦／監修 チャイルド本社
- 危機のドラゴン
レベッカ・ラップ／著 評論社
- ▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

地域包括支援センター通信

高齢者の

消費者被害防止について

地域包括支援センターの役割のひとつとして権利擁護があります。今回は、消費者被害防止についてお知らせします。

昨年度、県立生活科学センターに寄せられた消費生活相談件数は、19,546件。高齢者被害が年々増加し、被害も高額化しています。

■悪質業者は高齢者を狙っています！

トラブルを防ぐには、高齢者自身が問題意識を高めると同時に、家族や地域のかたと連携し、高齢者を見守ることが必要です。高齢者のかたは、被害にあっても気づきにくかったり、被害にあってもだれにも相談しなかつたりします。周りの人が変化に気づくことが大切です。

もし、次のようなことがあれば、高齢者がトラブルに巻き込まれている可能性があります。①見慣れない人が出入りしている。

- ② 会場に人を集めて無料で日用品などを配っている
- ③ 本人に覚えのない荷物などが置いてある。
- ④ 訪問販売業者などがなかなか帰らない。
- ⑤ 商品を購入しているが本人に覚えがない。
- ⑥ 急にお金に困りはじめる。

以上のような変化があれば、左記の相談機関につなぎましょう。

解約できないとあきらめず、できるだけ早く相談をかけましょう。

■相談機関の連絡先

西播磨生活科学センター

☎(0791)75・0999
平日午前9時～午後4時30分

週末消費生活相談ダイヤル

☎(0120)511・103
土・日午前10時～午後4時

役場商工観光課

☎82・0670
町地域包括支援センター
☎87・8020

お弁当の宅配サービス ご存知ですか？「食」の自立支援事業



町では、在宅の高齢者や身体障がい者などで、食事の調理が困難なため、お弁当を宅配する「食」の自立支援事業を行っています。

調理および宅配は、町社会福祉協議会を通じて行っています。

■利用するには

地区の民生委員、町社会福祉協議会に相談いただくか、直接役場健康課や各支所にお問い合わせください。

■利用者の認定

役場健康課職員などが直接訪問し、状態を調査したうえで、対象者の認定を行います。

■利用料金 1回300円

■利用可能回数 週2回まで

■お問い合わせ 健康課 ☎87-8020

★献血のお願い★

9月18日（木）

9：30～12：00 役場本庁
13：30～15：30 佐用中央病院

10月1日（水）

9：30～10：30 消防署
12：00～13：00 JA兵庫西佐用支店
14：30～15：30 役場三日月支所

■お問い合わせ
健康課 ☎87-8020

南光歯科保健センター

■予約受付 土・日・祭日を除くいずれも午前8時30分から午後5時30分まで

■診察日 毎週木曜日と金曜日午前9時から午後5時まで

■歯科衛生指導日

土・日・祭日を除く午前9時から午後5時
佐用町下徳久1005番地1（南光文化センター内）
☎78-1180（いい歯を）



高齢期を元気に過ごすために 高齢者の健康食生活



私たちにとって「食べること」は健康を維持し、活動的に生活するために必要不可欠なものです。また「食べる楽しみ」は私たちの生活に潤いや喜びを与えてくれます。もちろん、高齢になってもそれは変わりません。いきいきと活動的な充実した生活を送るためには、食事から体に必要な栄養素をバランスよくとることが大切です。

しかし、高齢者の栄養状態を見ると、体に必要な栄養素が不足する低栄養状態にある人が多く存在します。理由としては、加齢に伴う心身の機能の低下によって、食事量の減少や偏食などが考えられます。

高齢期を元気に過ごすための食生活のポイント

1. 1日3食を決まった時間に食べましょう。
2. 主食+主菜+副菜の3つをそろえましょう。
3. 塩分は控えめにし、香辛料を上手に使いましょう。
高齢になると味覚が落ちてくることがあるので、心がけて塩分は控えめにしましょう。

4. しっかり噛みましょう。

唾液の分泌を促し、口の中を衛生的に保ち免疫力の向上と脳を活性化させて認知予防になります。

5. お茶などの飲み物を充分にとりましょう。

高齢になると、唾液の分泌量が減って、食べ物に上手に飲み込めなくなることがあります。また、喉が渇く感覚も鈍くなりますので、食事以外でも、意識して水分を取るようにしましょう。

食事づくりや後片づけが面倒になってきたら

時には外食や市販のお惣菜を上手に利用するのもよいでしょう。ただし、市販のお惣菜などは、塩分や糖分が高めなので上手に選びましょう。

健康づくりの基本は、食生活と運動です。食生活を気づかうと同時に、生活のなかでこまめに体を動かし、おいしく食べられるからだ作りをし、いつまでもいきいきと過ごしましょう。

佐用健康福祉事務所

行事カレンダー (9月10日～10月9日分)

- 犬の引き取り
9月10日(水) 10:00～10:30
- 専門的栄養相談(要予約)
9月16日(火) 10:00～11:30
- アルコール相談(要予約)
9月18日(木) 13:30～15:30
- デイ・ケア(精神障がい者社会復帰訓練事業)
9月25日(木) 13:30～15:30
- 思春期精神保健相談
9月25日(木) 14:00～17:00
- こころのケア相談(要予約)
10月2日(木) 14:00～17:00

※いずれも、場所は佐用健康福祉事務所

■お問い合わせ
佐用健康福祉事務所 ☎82-2621



赤ちゃんともママの行事

- ★すくすく健康相談(平成20年3月生まれ)
9月12日(金) 13:30～
- ★3歳児健診
(平成17年7月～平成17年8月生まれ)
9月17日(水) 13:00～
- ★ヨチヨチ健康相談(平成19年9月生まれ)
9月19日(金) 13:30～
- ★4か月児健診(平成20年5月生まれ)
9月22日(月) 13:30～
- ★ぱくぱく離乳食教室
(すくすく健康相談後～1歳5か月未満)
10月3日(金) 10:00～
7か月～1歳未満児 10:30～12:00

※いずれも場所は上月保健福祉センター

携帯電話でもご覧いただけます。

QRコード対応の携帯電話のカメラで、右のQRコードを読み込んで町ホームページアドレスに接続してください。

※詳しい撮影方法は各携帯電話の取り扱い説明書をご確認ください。



健康だより



若いころから気をつけましょう 骨粗しょう症

「骨粗しょう症」と聞くと、高齢者の病気と考えるかたが多くありませんか？しかし実のところ、若いころの骨の状態が深く関係して起きる病気なのです。若いころから食事に注意したり運動をしたりして、予防することが大切です。

☆なぜ、若い時からの予防が大切なのか？

一般に、骨量は思春期ごろから急速に増加し、20歳までに最大に達します。40歳くらいまでは骨代謝のバランスはほぼ保たれています。しかし女性では、閉経して女性ホルモンの1つである「エストロゲン」の分泌が低下すると、それに伴って骨量も急激に減少します。男性も年齢とともに骨量は徐々に減りますが、女性ほど急激に減ることはありません。

最大骨量に達すると、骨量はその後減る一方なので、20歳までにできるだけ骨量を増やしておく必要があります。

しかし最近では、若い女性のなかでも、同じ年代の平均骨量よりも低い人が増えています。その背景には、極端な「やせ志向」からくる無理なダイエットや運動不足があると考えられています。

若いころに骨量が少ないと、将来、骨粗しょう症を発症する危険性が高くなります。

☆日常で気を付けることは？

1. カルシウムの多い食材を積極的にとる。
2. 適度に日光浴をする。
3. 適度な運動習慣をつける。

体重をかける運動が効果的ですが、運動習慣が今までにない人は、ウォーキングがおすすめです。

4. カフェイン・お酒・たばこは避ける。

※若いころから、日常生活に気を付けて、積極的に骨量の測定をしていきましょう！

スイーツの収穫でふれあい交流

— 金子集落『矢原山ホテル村』 —

このほど、金子集落「矢原山ホテル村」で、スイーツ収穫祭があり、集落内外から約100人が参加しました。同村は、集落の元気を取り戻そうと平成18年に開村。以来、集落全体の取り組みとして、ホテルや農業を生かした地域づくりが行われています。また京阪神の人たちも、この村の会員として集落を応援しています。

「集落の人が大好き」と力強く語るのは同村代表の大西茂さん。「現状をみんなの団結力で何とか守りたい。今日も多くの人たちが参加してくれて、とてもうれしい」と、満面の笑顔で話していました。

この日収穫されたスイーツは味も上々。参加者のみなさんは、収穫や試食をしながらふれあいを楽しんでいました。



村役場前で記念撮影

自然のなかで世代間交流

— 上長尾集落 —



「とれたよ」



子どもたちの楽しい思い出となりました

このほど、上長尾集落の河川敷で世代間交流が行われ、約100人が参加しました。

この行事は集落の恒例行事。まずは子どもたちの鮎つかみ大会にはじまり、その後、地元老人クラブみなさんによる手作りのおにぎりが、鮎の塩焼きを食べて楽しみました。

同集落自治会長の孝本武司さんは「地域の連帯感が少しずつ薄れている昨今、集落のみんなが集まって、高齢者から子どもまでがふれあうことがとても重要。みんなの笑顔が見れて、とてもうれしい。恒例行事として今後も継続したい」と、流れる汗をふきながら、笑顔で話していました。

犯罪のない明るいまちづくりをめざして

— 町民の集いが開催される —

7月29日、さよう文化情報センターで「犯罪のない明るいまちづくり町民の集い」が開催されました。式典では、安全で安心な地域づくりに尽力された佐用警察署の宮井壽警部補に「あさぎり賞」が贈られました。その後、三日月小学校の長峰伊歩希くん、三日月中学校の大林理紗さん、佐用高校の蔭山裕紀さんが、家族や地域のコミュニケーションの大切さなど、自分たちでできる明るいまちづくりを題材にした作文発表を行いました。

その後、県立生活科学総合センター技術アドバイザーの岡村佳高さんによる「悪質商法」の研修会が開催され、参加者のみなさんは熱心に聴講していました。



あさぎり賞の伝達のように、今後の取り組みにも期待されます



作文を披露した3人。左から長峰伊歩希くん、大林理紗さん、蔭山裕紀さん

世界にひとつだけの作品 —親子陶芸教室—

夏休みの親子陶芸教室が、7月から8月にかけて、三日月陶芸センターで行われました。

陶芸教室は、夏休みの工作づくりとして毎年人気があり、今年は親子41人の参加がありました。

指導員の西山孝博さん（田此）による手ろくろの使いかたや、作品づくりについての説明のあと、子どもたちはなれない手つきで茶碗やお皿づくりを楽しみました。

作り上げた作品はすべて世界にひとつだけの作品。作品を手にし、子どもたちはとても満足そうな表情をしていました。



楽しそうに作品づくりをする子どもたち

河童伝説で地域おこし —下三河・中三河自治会—



願いがこもった行灯がずらり

8月13日、中三河地内の小松原橋付近の馬螺が淵^{うまらぶち}で、地域恒例の河童まつりが行われ、多くの人たちでにぎわいました。

この行事は、昔、馬螺が淵に河童が住んでいた伝説があることから、それを生かした地域おこしを行おうと毎年行われています。周辺には、三河小学校や三土中学校の子どもたちが絵を描いた行灯が約1,000基ならび、幻想的な風景が広がりました。

「千種川の有名な景勝地である馬螺が淵。今年も開催できてとてもうれしい」と話すのは、下三河自治会長の嶋本昭彦さんと、中三河自治会長の阿曾弘三さん。「地域活性化のため今後も継続したい。今年も多くの人が訪れてくれ本当にうれしい」と笑顔で話していました。

サッカーで交流深める —佐用フットボールクラブ招待少年サッカー大会—

8月9日、10日の2日間にわたり、播磨光都サッカー場で、佐用フットボールクラブ招待少年サッカー大会が開催されました。

この大会は阪神淡路大震災の復興を願い開催されたことがきっかけで始まり、今回で14回目。町内の小学生で構成する佐用フットボールクラブをはじめ、神戸市、岡山県などから毎年多くのチームが参戦。今年も24チームが参戦し、熱戦が繰り広げられました。

佐用フットボールクラブの子どもたちは、炎天下のなか、はつらつとプレーし、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。



チームの力を出し切りました

J R 姫新線新型車両シンボルマークを募集

平成 21 年春に新型車両が導入されることを記念し、シンボルマークを募集します。くわしくは、姫新線姫路上月間電化促進期成同盟会のホームページをご覧ください。http://kishinsen.jp/

■お問い合わせ 姫新線姫路上月間電化促進期成同盟会事務局 ☎(0791)64-3141 (たつの市役所)

行政相談所を 開設します

行政相談週間が 10 月 20 日から 1 週間始まるにあたり、次の日程で行政相談所を開設します。お気軽にご相談ください。

- 日時 10 月 15 日 (水)
午後 1 時～午後 3 時
- 場所 役場 2 階相談室、南光文化センター会議室
- お問い合わせ
総務課 ☎82-2549

「法の日」 無料法律相談を開催

- 日時 10 月 4 日 (土)
午前 10 時～午後 3 時
- 場所
市民センター一宮 (宍粟市)
たつの市産業振興センター
太子町立文化会館「あすかホール」
相生市民会館 (税理士会不参加)
- 内容 身近な法律問題
- お問い合わせ
司法書士 黒田孝教事務所
☎(0791)63-3707

インターネット公売の お知らせ

町では、ヤフージャパンと提携し、差し押さえ不動産をせり売りで公売します。9 月末、町ホームページに掲載予定のガイドラインを参照の上で参加ください。くわしくはオークションサイトをご覧ください。

- 税務課 ☎82-0662

県立大附属中学校 入学者選考説明会

- 開催日 10 月 25 日 (土)
第 1 回 午前 10 時～
第 2 回 午後 1 時 30 分～
(気象警報で延期の場合あり)
- 開催場所
兵庫県立大学附属高等学校体育館
- 対象者 小学校 6 年生の保護者、教育関係者
- 参加方法 事前にはがきで申し込んでください。くわしくは公立小学校に配布の冊子、または中学校ホームページをご覧ください。
- お問い合わせ
兵庫県立大学附属中学校
☎(0791)58-0735



人口のうごき

8 月 20 日現在 () 内は前月比

人口 20,828 人 (-33)
男 9,948 人 (-10)
女 10,880 人 (-23)

世帯数 7,325 戸 (-4)

お誕生おめでとう

7 月 21 日から 8 月 20 日届出分 敬称略

個人情報につき非公開

8 月中の移動

出生 20 人 死亡 25 人
転入 24 人 転出 52 人

お悔やみ申し上げます

7 月 21 日から 8 月 20 日届出分 敬称略

個人情報につき非公開

臣

ちょうみんカレンダー

9 月上旬～ 10 月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
10	水	福祉相談	三日月福祉拠点施設	13:30～16:00
11	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
12	金	普通救命講習	佐用町消防署	13:30～16:30
13	土	郡陸上競技大会	佐用高校グラウンド	8:45～
13	土～ 祝	佐用町敬老会	本紙 9 ページをご覧ください。	
16	火	高年大学三日月教室	三日月文化センター	10:00～
17	水	高年大学上月教室	上月文化会館	10:00～
18	木	高年大学佐用教室 献血	さよう文化情報センター	10:00～ 本紙 16 ページをご覧ください。
19	金	E M ぼかし講習会	佐用町保健センター	10:00～
23	祝	三日月地域広弦・南広 地区消火訓練	広山集落広場	10:00～
25	木	弁護士相談 (社会福祉協議会に予約必要)	久崎老人福祉センター	13:00～15:30
	水	献血	本紙 16 ページをご覧ください。	
4	土	プラスフェスティバル	おりひめ文化ホール	13:00～
9	木	出張年金相談会 (予約制)	本紙 10 ページをご覧ください。	

くらしの 情報 Information

今月の税金

国民健康保険税第3期分

の納期限は

9月30日(火)です

口座振替日は9月30日(火)です

納税は納期限までに!

— 今月の納税相談日 9月25日(木) —

受付時間：午前8時30分～午後5時

受付場所：役場本庁舎 税務課

災害・盗難・疾病・失業や廃業などによって納期限までに町税が納められない場合は、納税相談に応じます。

■お問い合わせ

税務課 ☎82-0662

介護保険料(普通徴収)第3期分の

納期限は **9月30日(火)です**

■お問い合わせ

健康課 ☎87-8020

後期高齢者医療制度(普通徴収)第3期分の

納期限は **9月30日(火)です**

■お問い合わせ

福祉課 ☎82-0661

9月20日～26日は

動物愛護週間

動物は、私たちの生活を様々なかたちで豊かにしてくれる、人間にとってかけがえのない存在です。動物の愛護と適正な管理に努めましょう。

環境省・佐用町

募 集

視覚障がい者の集い 「青い鳥学級」メンバー募集

生涯学習課では、視覚障がいを持つかたの交流事業「青い鳥学級」を設けています。年4回程度、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、カラオケを楽しんだり、スポーツや視察研修を行っています。

目が不自由になると外出する機会が少なくなりがちですが、同じ立場の人たちが集うことでお互いの励ましになり、日々の活力になっています。高齢化のため、年々集まる人数が少なくなっていますが、和気あいあいと楽しく活動しています。お気軽にご参加ください。

また、活動を支えてくださるボランティアもあわせて募集します。

■お問い合わせ

生涯学習課 ☎82-3336

普通救命講習会 参加者募集

心肺そ生とAED、止血法の3時間コースです。参加費は無料です。気軽にご参加ください。

■日時 9月12日(金)

午後1時30分～

■場所 佐用町消防署3階

コミュニティ防災センター

■お問い合わせ

消防署 ☎82-3872

自衛隊員の募集

■対象者

・2等陸海空士(男性・女性)

18歳以上27歳未満のかた

・貸費学生(技術)

大学の理学部、工学部の3・4年次または大学院修士課程在学(正規の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満、修士課程在学者は28歳未満)

■受付期間

・2等陸海空士(男性)

年間通じて受付、女性はもよりの地方協力本部へお問い合わせください。

・貸費学生

12月1日(月)～来年1月16日(金)

■試験日

・2等陸海空士(男性・女性)

受付時にお知らせします。

・貸費学生…来年2月1日(日)

■お問い合わせ 自衛隊相生募集事務所

☎(0791)23-2750

ひょうご環境体験館 イベント参加者募集

各日程のくわしい内容は、お問い合わせください。

■9月7日(日)

「エコアクセサリーを作ろう」

■9月14日(日)

「たたき染めでオリジナルはがきづくり」

■9月21日(日)

「木で作るバランストンボ」

■9月28日(日)

「里山の植物観察会」

■定員 各日程30人

■申込締切 各1週間前

■申し込み・お問い合わせ

ひょうご環境体験館

☎79-2065

FAX 79-2069

お知らせ

子ども見まもり隊 ステッカーが作成される

通学路などでの子どもの安全を確保するため、「子ども見まもり隊」ステッカー(自動車のサンバイザー用)を作成しました。このステッカーは、町防犯協会、郡PTA連合会、佐用警察署が作成したもので、保護者などを中心に配布されました。

パトロール中

子ども見まもり隊

作成されたステッカー

町水道水質検査の 公表について

水道課では、安全で安心な水道水を使用していただくため、水質検査計画に基づき定期的な検査を行っています。検査結果は、町ホームページで公表していますので、ご覧ください。また水道に関する夜間の連絡先は、下記のとおりです。

■お問い合わせ

水道課 ☎86-1212

夜間連絡先 ☎82-2521

わが家のアイドル



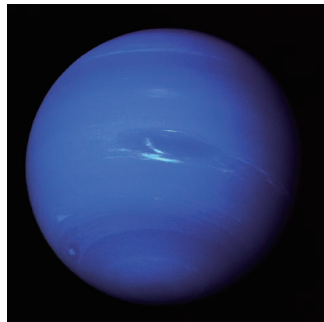
山根 やまね
彪雅 ひゅうが
ちゃん

プール遊びが大好きなひゅうが。歌にあわせておしりをふって踊ったりして楽しませてください。
毎日の成長、楽しみにしているよ。
パパ・ママより

星空ばんざい 今日は何の日？

西はりま天文台公園

世の中にはたくさんの記念日がありますが、天文・宇宙の記念日となると数は限られます。9月にはその内2つの記念日があります。



海王星
写真提供：NASA

一つは「宇宙の日」。宇宙飛行士の毛利衛さんが、スペースシャトル・エンデバーで初めて宇宙へ飛び立った9月12日がその日です。

もう一つは、今年のこの季節にぴったりの「海王星の日」です。1846年の9月23日に海王星が発見されたことを記念し、9月23日が海王星の日となりました。ただし、この「発見」は観測によって存在が確認されたという意味で、それ以前に海王星のありかを正しく予測したのも「発見」なので、海王星の発見者は複数いるのです。

海王星の見ごろは今。肉眼では見えない唯一の惑星ですが、なゆたの観望会なら大丈夫。ぜひ眺めに来てください。西はりま天文台 松田健太郎(特別研究員)

天文クイズ

海王星発見者の一人ガレが勤めていたドイツの天文台は何天文台？

- (1) 鹿林 (2) 長林 (3) ベルリン (4) 竹林寺

先月のクイズの解答：(3) 無数の星

【応募方法】はがきまたはFAX・メールで住所、氏名、年齢、電話番号、答えを記入し役場まちづくり課まで送ってください。正解者のなかから抽選で3人のかたに景品を送ります。なお、発表は景品の発送をもって当選者のかたにお知らせします。



佐用町の誇り

～平松武者踊り～

8月14日に4年ぶりの披露



平松集落に伝わる武者踊りは、太功記、鎌倉三代記、安達ヶ原、忠臣蔵などの歌舞伎の演目を踊りに仕組んだものです。「ならし踊り」とも呼ばれ、昔は初盆の家や広い庭家で踊られていましたが、今は吾勝神社境内で4年に一度お盆に踊られています。今年がちょうどその年で、8月14日夜に、多くの観衆の前で披露されました。

この踊りの特徴は、踊り子が物語の登場人物に扮し、手には刀、槍、鉄砲など道具を持っていることで、櫓を中心、天満節の音頭に合わせ輪になって踊ります。

演目によって登場人物の人数が必要なこと、衣装、小道具、練習など経費もかかることから一時はすたれそうになりましたが、昭和48年に保存会が結成され、踊りの継承が行われています。また、希少な伝統芸能であるため、昭和58年に町の無形民俗文化財に指定されました。

「集落の一大行事。6月からの練習も、みんな熱心に参加してくれ、本当に感謝します」と、うれしそうに話すのは、保存会長の春井政樹さんと平松自治会長の紙名孝さん。「武者おどりは集落の宝。いつまでも後世に引き継いでいきたい」と笑顔で話していました。



保存会長の春井政樹さん(右)と平松自治会長の紙名孝さん(左)

◆編集後記
今月は巻頭で、夏の子どもたちのいきいきとした姿を掲載しました。取材日は好天に恵まれ、子どもたちの日焼けした姿が、毎日のように新聞やテレビで報道される子どもたちのさまざまなお事件。子どもたちが健全に成長する環境とはどんなものなのか、明確な答えはありませんが、しかし取材のなかで、さまざまな思いを持ち活躍する人たちと出会いました。私たち親子として心強く思うと同時に、自分も思うようにしたい。